

➤ 通所介護における収益改善

- 特別養護老人ホーム併設の通所介護事業所における収益改善を実施
- 地域連携体制の構築と受入れ体制強化のための業務整理により、稼働率10%up
(年間約1000万の収益改善)

➤ 介護付有料老人ホームにおける人員配置の見直し

- 30名規模の介護付有料老人ホームにて、業務オペレーションの整理とサービス提供根拠の明確化を実施
- 業務整理と新業務表の活用で、人員配置の見直しに成功
(年間約1500万の収益改善)

➤ 特別養護老人ホームにおける生産性向上

- 特別養護老人ホームにおいてタイムスタディを行い、ムリムダムラの抽出から業務整理を実施
- 主に間接業務の見直しを行った結果、月70時間以上の時間削減につながり、生産性向上に成功

0か月目：Step0
キックオフ/事前準備



1か月目：Step1
運営詳細診断



2か月目：Step2
報告/提案



3～8か月目：Step3
伴走支援

【伴走支援により目指すゴールの具体例】

【業態共通】

- 帳票管理体制の整備による法令遵守体制の強化
- 地域連携による稼働の向上
- 業務の見える化による人員配置の見直し

【通所介護/訪問介護】

- 稼働向上のための業務オペレーション整理
- サービス見直しによる利用者様単価向上

【居住系事業所】

- 記録等の間接業務のムリムダムラの解消による時間創出や残業、休日出勤の解消
- 介護サービスの品質向上に向けたサービス提供基準の整備

上記を通して、
運営（スタッフさまの働きやすさやサービス品質、法令遵守など）と
経営（収益性や適正な雇用と配置など）の安定化を目指す